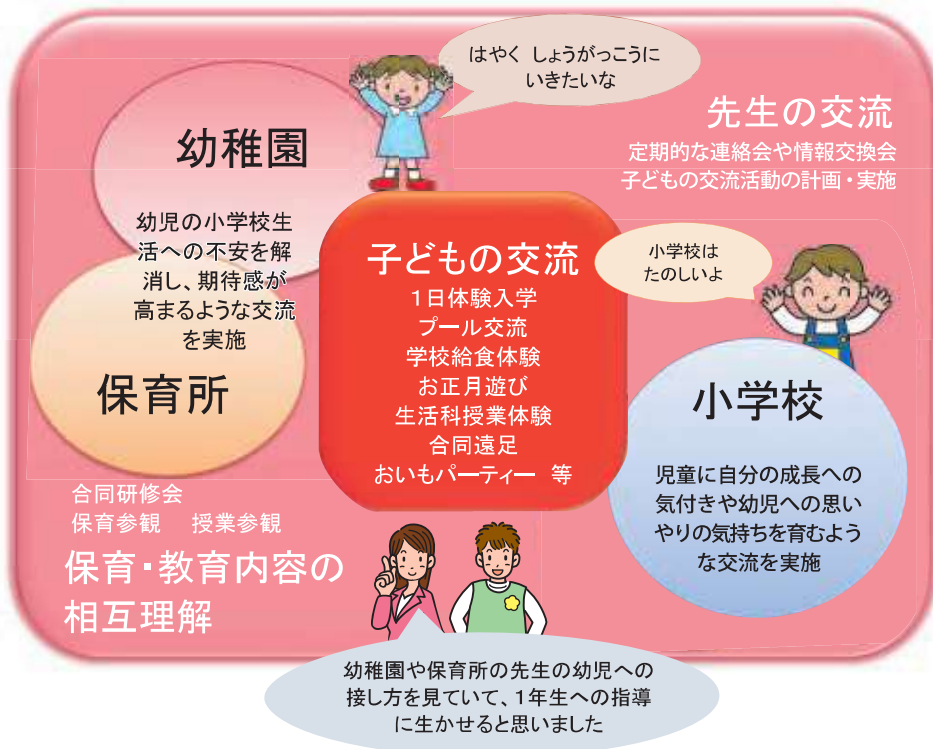


# 幼児期の教育と小学校の教育を円滑に接続するために



まずは年間を通して計画的に交流をしましょう

子どもの交流



先生の交流



教育のつながり

奈良県立教育研究所

〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1  
TEL 0744-33-8900 FAX 0744-33-8909  
URL <http://www.nps.ed.jp/nara-c/>

# 幼児期から小学校への接続期の すべての子どもが 楽しく学ぶために

～平成23年度幼児期から小学校への接続期実態調査の結果より～



奈良県教育委員会

幼稚園、保育所、小学校の先生方は、幼児期にどんなことを身に付けさせたいと考えているでしょうか。

小学校就学までに、幼稚園・保育所で子どもたちに身に付けさせたいこと

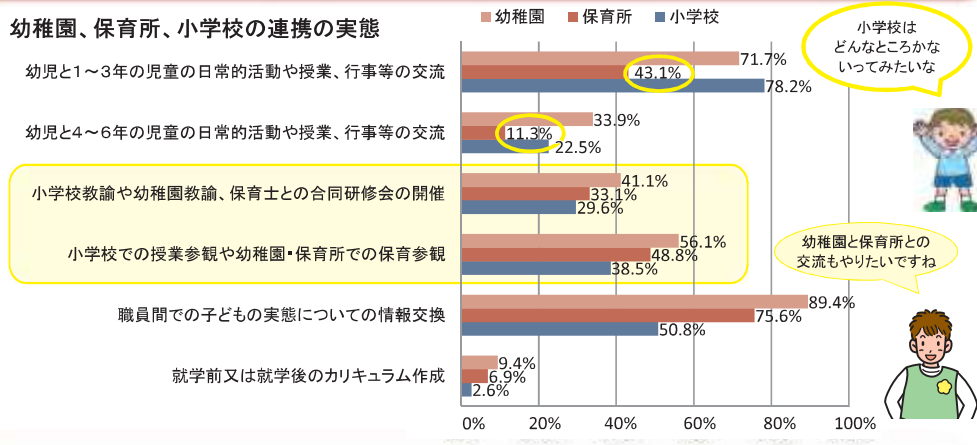
幼稚園長・保育所長の回答		小学校長の回答	
基本的な生活習慣(清潔・衣服の着脱・食事など)	80.6%	人の話をきちんと聞こうとすること	77.8%
人の話をきちんと聞こうとすること	64.3%	基本的な生活習慣(清潔・衣服の着脱・食事など)	76.8%
友達を思いやり仲良く協力し合うこと	60.3%	約束やきまりを守ろうとすること	58.6%
遊びに興味・関心をもって意欲的に関わること	55.7%	友達を思いやり仲良く協力し合うこと	53.2%
自分の考えや様子を自分なりのことばで話すこと	52.8%	遊びに興味・関心をもって意欲的に関わること	39.4%

幼稚園・保育所・小学校とも、「基本的な生活習慣」「人の話をきちんと聞こうとすること」「友達を思いやり仲良く協力し合うこと」と答えた先生が多かったです。

幼児期の終わりまでに育ててほしい子どもの姿を、幼稚園、保育所、小学校が一緒になって具体的に考え共有することは、それぞれが行う教育をお互いに理解し合うための第一歩となります。

幼稚園、保育所、小学校の連携の実態はどのようになっているのでしょうか。

幼稚園、保育所、小学校の連携の実態

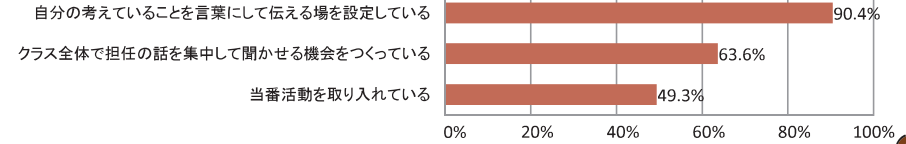


交流は増えてきていますが、子どもどうしの交流や、先生どうしの交流のさらなる充実が必要です。

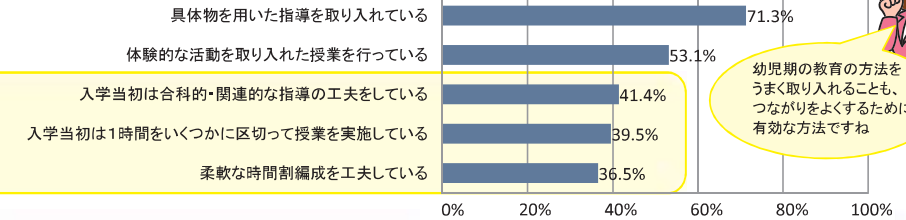
幼稚園、保育所、小学校の連携・交流は、幼稚園教育要領、保育所保育指針、小学校学習指導要領でそれぞれ実施をうたわれています。

幼児期から小学校へのつながりを重視した取組は、どのようなことが実施されているのでしょうか。

小学校生活をイメージした取組として幼稚園・保育所担任が実施していること



幼稚園・保育所からのつながりを重視した取組として小学校担任が実施していること



幼稚園・保育所では言葉に対する感覚や言葉で表現する力が養われるよう取り組んでいます。小学校は具体物を用いた指導や体験的な活動を取り入れた授業を行っています。

幼児期から小学校へのつながりを重視した教育は、どちらか一方が他方に合わせるものではありません。子どもが新しい環境にうまく対応できるようにするために、子どもの発達段階や各教科の目標・内容に応じて幼児期の教育、小学校の教育の方法をうまく組み合わせることが大切です。

すべての子どもたちが楽しく小学校での生活をスタートできるように

子どもの育ちや学びの連続性を大切にするためには、幼稚園、保育所、小学校の先生が、互いの教育について相互に理解することがとても重要です。

幼児期から小学校への接続を円滑に進めることは、小学1年生での学校生活への不適応(いわゆる「小1プロブレム」)の発生を防止することにもつながります。

小学校入学当初の時期の指導は、小学校低学年の教育課程全体を視野に入れて「スタートカリキュラム」と位置付け、学年単位での取組ではなく、専科教員、養護教諭等も含めた学校全体での取組として進めていくことが大切です。

小学校入学当初の時期の指導の工夫には、学年の合同授業やチームティーチング、15分程度のモジュール授業などが考えられます。